

ひろしま自然保育認証制度活動報告書

2022.4.10
かやのみ幼稚園

活動内容「幼稚園のタケノコを収穫し、美味しく食べ、描こう」

園長が幼稚園周辺に生えるモウソウタケのタケノコを春先より出ているか確認をしている。2022年はイノシシが例年と比べ活動的であったため土中のタケノコはほぼ食べられていた。その中でも芽を出しているタケノコもあり、子どもたちに発見させスコップで掘り採取した。

① タケノコの発見

子どもとタケノコを一緒に探す。スーパー等では真空パックの物が主流のため、タケノコ自体を見た経験がある子どもが少ない。タケとタケノコの関係や、地下茎によって繋がっていることも現地にて説明する。

② タケノコを採取

長さや重さを感じて、五感を通じた感触を楽しんでいた。



③ タケノコの皮を剥く。

タケノコの皮を剥くことで、皮がどのように重なっているか、また裏はツルツルしており、昔はラップのかわりにおにぎり等を包んでいた事を学んだ。

④ タケノコを調理する。

モウソウタケはタケノコの中でも高級な部類であり、食感も良く、残さず全員が美味しくいただいた。

⑤ タケノコを描く

タケノコを採取した経験と皮を剥いた経験を絵画にした。特徴として皮が幾重にも重なっているところや、芽が出ている箇所、そして根の部分等、タケノコ本来の特徴がわかりやすく描かれている。かやのみ幼稚園でのタケノコの絵画の特徴がよく出ている。



ひろしま自然保育認証制度活動報告書

2022.10.25

かやのみ幼稚園

活動内容「やきいもパーティ」

① 経緯

幼稚園では食育の観点より園庭や周辺で様々な作物を育てている。例年、年長児はサツマイモを飼育している。春先に土を耕し、草取り、水やり等、子どもたちが世話をして育てたサツマイモである。



② 10月21日、青々と茂ったサツマイモの収穫をした。あまり大きくないものもあり、不揃いではあったが子どもたちにとっては、自分らで育てたサツマイモであることから、大いに収穫を喜んでいました。イモつるは芋畑隣で飼育しているヤギにそのまま食べさせた。

③ 10月25日、いよいよ収穫したサツマイモを焼いて食べる日がやってきた。イモを適度な大きさに切り、子どもたちで濡らした新聞紙に包み、さらにアルミホイルを巻いて焚火の中に入れていた。前日、子どもたちと拾い集めていた落ち葉を上から大量に入れて蒸し焼き状態で焼いた。とてもよく焼けていて、子どもたちは大喜びでサツマイモを口に頬張った。



ひろしま自然保育認証制度活動報告書

2022.4.30
かやのみ幼稚園

活動内容「シュロの花観察」

① 経緯

幼稚園にはシュロの木がある。ちょうど螺旋道路が周りを囲っていて、目線以上にシュロの花が咲くのであるが、あまり気にしていなかったため毎年開花を見過ごしていた。

- ② 今年偶然、花が咲きはじめている時期に園長の目にとまり子どもたちと観察することになった。黄色く、大きく立派な蕾が、日に日に大きくなり、開花していく様子を数日にわたり観察した。



- ③ シュロの幹は、お寺の鐘をつくのに用いられること

が多く、住職である園長が説明し、後日お寺の鐘撞堂を観察したり感触を確認した。

